



これまでの日々も、
思い出も、
一緒に笑った時間も。
きっと思い出す。
ずっと忘れない。

— 被災地の記憶を想う —
「RE:プロジェクト」
記録展

2012年6月6日(水) - 7月27日(金)

仙台市役所 1階ギャラリーホール

| 主催 | 仙台市 公益財団法人仙台市市民文化事業団

記憶の中に立ち現れる「まち」の姿を想う

2011年3月11日に起きた東日本大震災で、
私たちは津波の襲来によって地域を丸ごと失ってしまうという、
悲劇的な局面に遭遇しました。
日常を一瞬にしてさらってしまった衝撃を、恐らく私たちは今後忘れることはないでしょう。

しかし一方で、
地域に息づく人々の暮らしや培われてきた文化といった「目に見えないもの」については、
語り部がない限り、どんどん忘れ去られていくかもしれません。

そうした危機感から、「RE:プロジェクト」は立ち上げられました。

被災した地域の記憶をつないでいくこと。
どんな地域だったのか想いを巡らし、
失われてしまった「目に見えないもの」の可視化を図ること。
今一度地域資源の尊さについて、再発見/再認識/再考する場をつくること。
「RE:プロジェクト」は、これらを目的として活動を展開し、また今後も続いていきます。

2011年度は、被災地のかつての姿を住民へのヒアリングから探り、
「ここはどういう場所だったのか」「どのような暮らしがあったのか」を記録し、
『RE:プロジェクト通信』(*)を発行してきました。

本展では、
『RE:プロジェクト通信』で取材した方々の言葉を写真とともに紹介し、
これまでの「RE:プロジェクト」の取り組みの軌跡をたどるとともに、
確かにあった「それまでの仙台」の姿をお伝えします。

言葉となって立ち現れた、これまでの暮らしの記憶。
耳を傾けて、想像してみてください。

*『RE:プロジェクト通信』について

毎号一つの地域を取り上げ、そこにお住まいだった方々からお話をうかがい、かつての地域の姿を振り返るフリーペーパーです。
第0号(創刊号) / 第1号(若林区荒浜) / 第2号(若林区藤塚) / 第3号(若林区三本塚) / 第4号(若林区井土)

◎会場にて配布しております。ぜひお手に取ってご覧ください。

会場	仙台市役所 1階ギャラリーホール (宮城県仙台市青葉区国分町3丁目7-1)
会期	2012年6月6日(水) - 7月27日(金)のうちの平日
時間	9時 - 17時
主催	仙台市 公益財団法人仙台市市民文化事業団
お問い合わせ	公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業課 電話: 022-301-7405 ファックス: 022-727-1874 メール: info@sendaicf.jp